

練馬区子ども・子育て支援事業計画 中間見直し（案）

平成30（2018）年3月

練 馬 区

目 次

第1章 計画の中間見直しの基本的な考え方

- 1 計画の中間見直しについて 1
- 2 最新の児童人口の推計 2

第2章 計画の重点取組の進捗状況

- 1 子どもと子育て家庭の支援の充実 3
- 2 子どもの教育・保育の充実 4
- 3 子どもの成長環境の充実 5

第3章 法定事業の年度別需給計画

- 1 子ども・子育て支援法の法定事業 6
- 2 法定事業の年度別需給計画 8
 - 幼稚園を利用する3～5歳 8
 - 幼稚園預かり保育 9
 - 保育サービス 10
 - 延長保育事業 14
 - 病児・病後児保育事業 15
 - 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業 16
 - 利用者支援事業 17
 - 地域子育て支援拠点事業（子育てのひろば） 18
 - 一時預かり事業 19
 - 妊婦健康診査 20
 - 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問） 21
 - 子育て短期支援事業（ショートステイ） 22
 - 放課後児童健全育成事業（学童クラブ） 23
- 3 教育・保育提供区域の設定 24
- 4 教育・保育提供区域ごとの法定事業の年度別需給計画 26

1 計画の中間見直しについて

(1) 中間見直しの背景

- 練馬区子ども・子育て支援事業計画は、「みどりの風吹くまちビジョン～新しい成熟都市・練馬をめざして～」を上位計画とし、この実現に向けた子ども・子育て分野の個別計画として、平成27年3月に策定されました。あわせて、子ども・子育て支援法等に基づく計画としても位置づけています。
- 計画期間は平成27年度から平成31年度までとしていますが、児童人口や女性の就業等の社会情勢の変化に迅速に対応するため、計画の内容と実態にかい離が生じた場合には、計画の中間年において見直すこととしています。
- 現状では、本区の出生数は近年増加傾向にあり、特に就学前の児童人口が計画策定当時の推計よりも上振れている状況にあります。また、この間の保育需要の急増に対応するため、計画の目標値を超える対策をすでに行ってきました。
- こうした状況を踏まえ、本年度、計画の中間の見直しを行います。

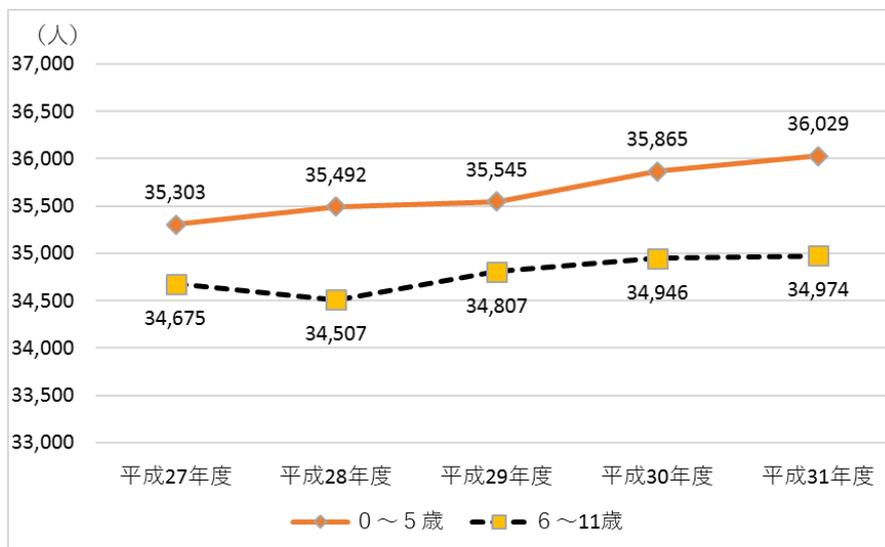
(2) 中間見直しの内容

- 今回の見直しでは、まず、児童人口について、近年の増加傾向を踏まえ、あらためて推計を行います。
- あわせて、昨年度子育て世帯を対象に行ったニーズ調査の結果や各種事業の利用状況等を踏まえ、あらためて各事業の量の見込み（需要量）と確保方策（供給量）を算定し、年度別の需給計画を見直します。

2 最新の児童人口の推計

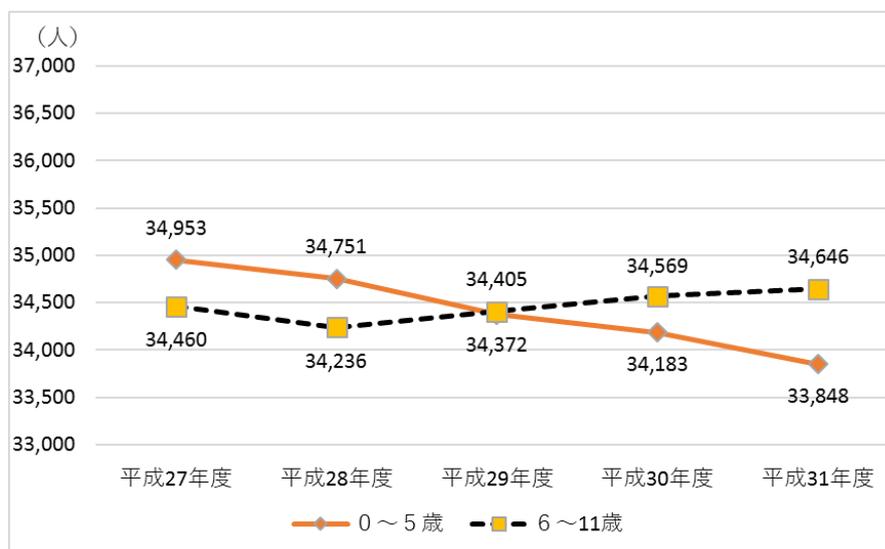
平成 29 年 4 月 1 日時点の人口を基準に、近年の人口動向を踏まえ、コーホート変化率法により推計を行いました。結果は次のとおりです。

【 見直し後の人口推計（平成 29 年 4 月 1 日時点を基準とした推計） 】



資料：住民基本台帳（外国人登録数含む）、各年 4 月 1 日現在をもとに子ども家庭部において推計
平成 27～29 年度の人口は実績値

(参考) 見直し前の人口推計（平成 26 年 4 月 1 日時点を基準とした推計）



資料：住民基本台帳（外国人登録数含む）、各年 4 月 1 日現在をもとに子ども家庭部において推計

※新元号が未決定のため、平成 31 年度についても「平成」で表しています。

第2章 計画の重点取組の進捗状況

【妊娠・出産期～】

1 子どもと子育て家庭の支援の充実

重点取組（リーディングプロジェクト）（※）

家庭での子育てを応援

< 5年後の目標 >

安心して子育てができる環境の整備

- 1 子ども家庭支援センターに「すくすくアドバイザー」を配置
- 2 保護者のニーズに対応した妊娠期からの切れ目のない子育て支援サービスを充実

主な取組の進捗状況

（1）相談支援体制の整備（すくすくアドバイザー）

子育てに関する「なんでも相談」を受け付ける「すくすくアドバイザー」を子ども家庭支援センター（練馬駅北分室、光が丘、大泉、関）と区役所内に配置しました。

平成26年4月時点（実施か所数）	平成31年度末の目標値（当初）	平成29年度末の見込み
—	5か所	5か所

（2）親子で交流できる場の拡充（子育てのひろば）

身近なところで、子育て中の親子が気軽に交流できるよう、0～3歳の乳幼児と保護者のための遊びと交流の場「子育てのひろば」の実施か所数を増やしています。

平成26年4月時点（実施か所数）	平成31年度末の目標値（当初）	平成29年度末の見込み
20か所	27か所	25か所

（3）多様な一時預かりの充実（一時預かり事業）

子ども家庭支援センターの「乳幼児一時預かり事業」や区民ボランティアである援助会員による「ファミリーサポート事業」などにより、多様な一時預かりを充実しています。

平成26年4月の定員	平成31年度末の目標値（当初）	平成29年度末の見込み
79,875人日	123,002人日	117,717人日

※重点取組（リーディングプロジェクト）…区の上位計画である「みどりの風吹くまちビジョン～新しい成熟都市・練馬をめざして～」の戦略計画に位置付けた施策。

【乳児期～幼児期】

2 子どもの教育・保育の充実

重点取組（リーディングプロジェクト）

「練馬こども園」の創設

< 5 年後の目標 >

「練馬こども園」の創設により、多様なニーズに応じて教育・保育サービスを選択できる社会の実現

主な取組の進捗状況

(1) 練馬こども園の創設

子どもの教育・保育について保護者の選択の幅が広がるよう、区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」（年間を通して11時間保育を行う私立幼稚園）を創設し、推進しています。

平成 26 年 4 月の認定数等	平成 31 年度末の目標値（当初）	平成 29 年度末の見込み
—	—	16 園（定員 1,135 人）

(2) 教育・保育施設の定員拡大

待機児童を解消し、保護者が希望する教育・保育サービスを受けられるよう、認可保育所や地域型保育事業等の誘致を進め、定員拡大を進めています。

平成 26 年 4 月の定員	平成 31 年度末の目標値（当初）	平成 29 年度末の見込み
定期的な教育・保育施設等の定員 23,480 人	26,513 人	26,363 人

(3) 多様な保育サービスの充実

① 延長保育事業

多様化する保護者の就労形態などに伴う保育ニーズに対応するため、通常の保育時間外に延長保育を行う園を増やし、定員拡大を進めています。

平成 26 年 4 月の定員	平成 31 年度末の目標値（当初）	平成 29 年度末の見込み
4,824 人	8,020 人	7,976 人

②病児・病後児保育事業

病気の回復期等で集団保育が困難な期間に、一時的に子どもを保育する病児・病後児保育について、新規開設や既存施設の定員拡大を進めています。

平成 26 年 4 月の定員	平成 31 年度末の目標値（当初）	平成 29 年度末の見込み
6,760 人日	14,300 人日	13,780 人日

【小学生～中高生】

3 子どもの成長環境の充実

重点取組（リーディングプロジェクト）

すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり

< 5 年 後 の 目 標 >

学童クラブと学校応援団ひろば事業を一体的に運営し、すべての小学生が安全かつ充実した放課後を過ごすことができる環境を整備

主 な 取 組 の 進 捗 状 況

(1) ねりっこクラブの実施

すべての小学生に安全かつ充実した放課後や長期休業中の居場所を提供するため、区立小学校において「学童クラブ」と「学校応援団ひろば事業」のそれぞれの機能や特色を維持しながら事業運営を一体的に行う「ねりっこクラブ」を開始し、推進しています。

平成 26 年 4 月の実施か所数	平成 31 年度末の目標値（当初）	平成 29 年度末の見込み
—	20 校	8 校

(2) 学童クラブの充実

「ねりっこクラブ」の推進とともに、民間学童保育の誘致を進め、学童クラブの定員拡大を進めています。

平成 26 年 4 月の受入上限等	平成 31 年度末の目標値（当初）	平成 29 年度末の見込み
4,639 人	6,506 人	5,236 人

第3章 法定事業の年度別需給計画

1 子ども・子育て支援法の法定事業

子ども・子育て支援法では、区市町村の子ども・子育て支援事業計画において、教育・保育および地域子育て支援事業に関する年度別の需給計画を定めるものとされています。需給計画の対象となる法定事業は、以下のとおりです。

(1) 教育・保育

教育・保育を提供する施設

- ◎ 幼稚園
- ◎ 認定こども園（※1）
- ◎ 認可保育所
- ◎ 地域型保育事業（※2）

※1 認定こども園法等の国の基準に基づいて設置された教育と保育を一体的に行う施設

※2 少人数（19人以下）で0～2歳の子どもを預かる事業で、以下の種別があります。

家庭的保育事業	定員1～5人で家庭的な雰囲気のもと、保育を行います。
小規模保育事業	定員6～19人で家庭的保育に近い雰囲気のもと、保育を行います。
事業所内保育事業	事業所内の施設において、事業所の従業員の子どものほか、地域の子どもの保育を行います。
居宅訪問型保育事業	障害など個別のケアが必要な場合などに、保護者の自宅で1対1の保育を行います。

◎教育・保育は以下の区分に分けて整備を行います。

認定区分	年齢区分	どのような場合に該当するか
1号認定	3～5歳	就学前の子どもで主に幼稚園を利用する場合
2号認定	3～5歳	就学前の子どもで保育が必要な場合
3号認定	0歳	
	1・2歳	

(2) 地域子ども・子育て支援事業

- ① 延長保育事業
- ② 病児・病後児保育事業
- ③ 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業
- ④ 利用者支援事業
- ⑤ 地域子育て支援拠点事業（子育てのひろば）
- ⑥ 一時預かり事業
- ⑦ ファミリーサポートセンター事業
- ⑧ 妊婦健康診査
- ⑨ 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）
- ⑩ 養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業
- ⑪ 子育て短期支援事業（ショートステイ）
- ⑫ 放課後児童健全育成事業（学童クラブ）
- ⑬ 実費徴収に係る補足給付を行う事業

※年度別需給計画においては、⑦ファミリーサポートセンター事業は、⑥一時預かり事業に含めて取り扱っています。

⑩養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業は、⑨乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）を経て、支援が必要とされた世帯に対して実施するものであるため、単独での計画は設定しません。

⑬実費徴収に係る補足給付を行う事業は、区で行う事業がないため計画には記載しません。

2 法定事業の年度別需給計画

(1) 教育・保育

【幼稚園を利用する3～5歳（1号認定）】（【重点（※）】）

就学前の教育・保育のうち、主に幼稚園での教育（3～5歳）に関する事業です。

■これまでの取組

区内には私立幼稚園39園と区立幼稚園3園があります。区内の3～5歳児の半数以上が私立幼稚園に通うなど、幼稚園は区の幼児教育に大変大きな役割を果たしています。

■見直しの内容

今回実施した人口推計とニーズ調査に基づき、量の見込み（需要量）を再算定し、現状も踏まえ、確保方策（供給量）を見直します。

現状の供給量で需要量に対応できる見込みであるため、定員枠は現状どおりとします。

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	10,449	10,707	9,688	9,918	10,011
②追加整備量	人	435	△400	0	0	0
③確保方策	人	11,597	11,197	11,197	11,197	11,197
④過不足（③－①）	人	1,148	490	1,509	1,279	1,186

（参考）見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	10,449	10,707	10,910	11,185	11,387
②追加整備量	人	0	0	0	23	202
③確保方策	人	11,162	11,162	11,162	11,185	11,387
④過不足（③－①）	人	713	455	252	0	0

※重点…重点取組（リーディングプロジェクト）であることを示しています。（P3の注釈参照）

【幼稚園預かり保育】（【重点】）

幼稚園の在園児を対象に、教育時間の前後や夏休みなどの長期休業期間に預かり保育を行う事業です。

■これまでの取組

子どもの教育・保育について保護者の選択の幅が広がるよう、私立幼稚園における長時間預かり保育を拡大した、区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」を創設しました。

「3歳以降は預かり保育のある幼稚園に通わせたい」といった保護者のニーズに応えるとともに、3歳以降の新たな保育の受け皿として、待機児童対策としても大きな役割を發揮しています。

■見直しの内容

今回実施した人口推計とニーズ調査に基づき、量の見込み（需要量）を再算定し、さらなる需要の増加に応えるため、確保方策（供給量）を拡大します。

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人日	307,446	306,438	362,007	370,818	374,098
②追加整備量	人日	205,424	62,512	10,450	21,000	9,000
③確保方策	人日	387,984	450,496	460,946	481,946	490,946
※利用実績	人日	156,977	184,495	—	—	—
④過不足（③－①）	人日	80,538	144,058	98,939	111,128	116,848

（参考）見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人日	307,446	306,438	303,716	303,238	300,781
②追加整備量	人日	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
③確保方策	人日	206,560	230,560	254,560	278,560	302,560
④過不足（③－①）	人日	△ 100,886	△ 75,878	△ 49,156	△ 24,678	1,779

【保育サービス】（【重点】）

就学前の教育・保育のうち、保育を必要とする子ども（0～5歳）に関する事業です。

■これまでの取組

急増する保育需要に対応するため、区では、都内最大で認可保育施設の定員を拡大するとともに、「保育所待機児童ゼロ作戦」の実施、独自の幼保一元化施設「練馬こども園」の創設など、当初の計画の目標を超えて対策を実施してきました。

その結果、都内全域の待機児童数は概ね8,000名で横ばいに推移する中、本区の平成29年4月の待機児童数は48名と大幅に削減することができました。

■見直しの内容

今回実施した人口推計とニーズ調査とともに、近年の需要動向を踏まえ、量の見込み（需要量）を再算定し、さらなる需要の増加に因應するため、確保方策（供給量）を拡大します。

また、保育士確保や、保育園の運営状況の「見える化」、利用者の相談等に対応する仕組みづくり等、保育の質の向上に向けた取組も進めます。

【0歳（3号認定）】

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後			
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み	人	1,318	1,303	1,422	1,476	1,524	
②追加整備量	人	117	14	75	90	71	
③確保方策	人	1,325	1,339	1,414	1,504	1,575	
内訳	認可保育所	人	948	1,011	1,033	1,053	1,092
	地域型保育事業	人	108	127	185	255	287
	その他	人	269	201	196	196	196
④過不足（③－①）	人	7	36	△8	28	51	

（参考）見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み	人	1,318	1,303	1,288	1,240	1,191	
②追加整備量	人	126	35	22	25	18	
③確保方策	人	1,334	1,369	1,391	1,416	1,434	
内訳	保育所・認定こども園	人	948	1,019	1,035	1,054	1,066
	地域型保育事業	人	118	130	136	142	148
	認可外保育施設	人	268	220	220	220	220
④過不足（③－①）	人	16	66	103	176	243	

【1・2歳（3号認定）】

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度 (見込み)	平成 30年度	平成 31年度
①量の見込み	人	5,166	5,278	5,773	6,161	6,345
②追加整備量	人	431	355	754	270	231
③確保方策	人	4,962	5,317	6,071	6,341	6,572
内 訳	認可保育所	4,023	4,377	4,715	4,865	5,012
	地域型保育事業	284	429	797	917	1,001
	その他	655	511	559	559	559
④過不足（③－①）	人	△ 204	39	298	180	227

（参考）見直し前

	単位	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
①量の見込み	人	5,166	5,278	5,392	5,382	5,360
②追加整備量	人	642	177	97	103	74
③確保方策	人	5,173	5,350	5,447	5,550	5,624
内 訳	保育所・認定こども園	4,023	4,248	4,313	4,384	4,426
	地域型保育事業	439	503	535	567	599
	認可外保育施設	711	599	599	599	599
④過不足（③－①）	人	7	72	55	168	264

【3～5歳（2号認定）】

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後			
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み	人	6,490	6,425	7,974	8,629	9,147	
②追加整備量	人	640	362	1,235	400	534	
③確保方策	人	7,219	7,581	8,816	9,216	9,750	
内訳	認可保育所	人	7,015	7,458	7,553	7,813	8,167
	地域型保育事業	人	—	—	—	—	—
	練馬こども園	人	—	—	1,135	1,195	1,375
	その他	人	204	123	128	208	208
④過不足（③－①）	人	729	1,156	842	587	603	

※「練馬こども園」は平成28年4月から事業を開始していますが、今回の計画の見直しに際して、平成29年度から計画上の量の見込みと確保方策に加えています。

（参考）見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①量の見込み	人	6,490	6,425	6,380	6,275	6,150	
②追加整備量	人	596	379	258	150	106	
③確保方策	人	7,175	7,554	7,812	7,962	8,068	
内訳	保育所・認定こども園	人	7,015	7,467	7,725	7,875	7,981
	地域型保育事業	人	—	—	—	—	—
	認可外保育施設	人	160	87	87	87	87
④過不足（③－①）	人	685	1,129	1,432	1,687	1,918	

【0～5歳（合計）】

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後			
		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度 (見込み)	平成 30年度	平成 31年度	
①量の見込み	人	12,974	13,006	15,169	16,266	17,016	
②追加整備量	人	1,188	731	2,064	760	836	
③確保方策	人	13,506	14,237	16,301	17,061	17,897	
内 訳	認可保育所	人	11,986	12,846	13,301	13,731	14,271
	地域型保育事業	人	392	556	982	1,172	1,288
	練馬こども園	人	—	—	1,135	1,195	1,375
	その他	人	1,128	835	883	963	963
④過不足（③－①）	人	532	1,231	1,132	795	881	

※「練馬こども園」は平成28年4月から事業を開始していますが、今回の計画の見直しに際して、平成29年度から計画上の量の見込みと確保方策に加えています。

（参考）見直し前

	単位	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	
①量の見込み	人	12,974	13,006	13,060	12,897	12,701	
②追加整備量	人	1,364	591	377	278	198	
③確保方策	人	13,682	14,273	14,650	14,928	15,126	
内 訳	保育所・認定こども園	人	11,986	12,734	13,073	13,313	13,473
	地域型保育事業	人	557	633	671	709	747
	認可外保育施設	人	1,139	906	906	906	906
④過不足（③－①）	人	708	1,267	1,590	2,031	2,425	

(2) 地域子ども・子育て支援事業

【延長保育事業】（【重点】）

多様化する保護者の就労形態等に伴う保育ニーズに対応するため、保育所等で通常の利用時間外に保育を行う事業です。

■これまでの取組

保育所利用児童の増加とあわせて本事業の需要も増加しているため、延長保育を行う園を増やし、当初の計画以上に定員を拡大しました。

■見直しの内容

今回実施した人口推計とニーズ調査に基づき、量の見込み（需要量）を再算定し、さらなる需要の増加に 대응するため、確保方策（供給量）を拡大します。

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	6,263	6,227	7,299	7,366	7,400
②追加整備量	人	1,587	917	648	681	586
③確保方策	人	6,411	7,328	7,976	8,657	9,243
※4月1日時点の 利用登録実績	人	1,250	1,347	1,260	—	—
④過不足（③－①）	人	148	1,101	677	1,291	1,843

（参考）見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	6,263	6,227	6,159	6,125	6,065
②追加整備量	人	1,526	951	339	220	160
③確保方策	人	6,350	7,301	7,640	7,860	8,020
④過不足（③－①）	人	87	1,074	1,481	1,735	1,955

【病児・病後児保育事業】（【重点】）

病気や病気の回復期にある子どもを保護者が保育できない場合に、病院・保育所などに付設されたスペースで保育する事業です。病児保育では、病気の回復期に至らないが、急変の恐れのないお子さんをお預かりします。病後児保育では、病気の回復期にあり、集団保育が困難な期間、お子さんをお預かりします。

■これまでの取組

保育所利用児童の増加とあわせて本事業の需要も増加しているため、新規開設を進め、受け皿を拡大してきました。

■見直しの内容

今回実施した人口推計とニーズ調査に基づき、量の見込み（需要量）を再算定し、さらなる需要の増加にこたえるため、確保方策（供給量）を拡大します。

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人日	11,388	11,323	13,596	13,733	13,810
②追加整備量	人日	5,980	260	780	780	1,560
③確保方策	人日	12,740	13,000	13,780	14,560	16,120
※利用実績	人日	6,431	6,741	—	—	—
④過不足（③－①）	人日	1,352	1,677	184	827	2,310

（参考）見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人日	11,388	11,323	11,199	11,137	11,028
②追加整備量	人日	5,980	1,560	0	0	0
③確保方策	人日	12,740	14,300	14,300	14,300	14,300
④過不足（③－①）	人日	1,352	2,977	3,101	3,163	3,272

【多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業】

多様な主体が子ども・子育て支援新制度に参入し、保護者のニーズに応じた多様な保育サービスの提供を促進することを目的とした事業です。

■これまでの取組

新規開設の保育所や認可外保育施設を対象に、区立保育所園長経験者等による巡回支援などを実施しています。

■見直しの内容

現状を踏まえ、量の見込み（需要量）と確保方策（供給量）を見直します。

また、引き続き、巡回支援などのきめ細やかなフォローアップを行い、保育の質の維持・向上を図ります。

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	6	6	12	12	12
②追加整備量	人	6	0	△ 1	1	0
③確保方策	人	12	12	11	12	12
④過不足 (③-①)	人	6	6	△ 1	0	0

(参考) 見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	6	6	6	6	6
②追加整備量	人	0	0	0	0	0
③確保方策	人	6	6	6	6	6
④過不足 (③-①)	人	0	0	0	0	0

【利用者支援事業】（【重点】）

「育児に関してもっと情報がほしい」「子育てサービスの窓口や手続きがわからない」など、子育てに関する「なんでも相談」を受け付け、必要に応じて関係機関へ橋渡しする事業です。

■これまでの取組

子ども家庭支援センター（練馬駅北分室、光が丘、大泉、関）と区役所内に「すくすくアドバイザー」を配置してきました。また、計画策定後に新たに母子保健型の利用者支援事業が創設され、平成28年4月より同事業も開始し、区役所内と保健相談所に「妊娠・子育て相談員」を配置しました。

■見直しの内容

母子保健型の利用者支援事業も含めて、量の見込み（需要量）と確保方策（供給量）を見直します。また、「妊娠・子育て相談員」によるすべての妊婦との面談・支援を実施するとともに、「すくすくアドバイザー」と緊密に連携し、妊娠期から子育て期までの総合的な支援体制を拡充します。

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	か所	5	5	12	12	12
②追加整備量	か所	1	2	9	0	0
③確保方策	か所	1	3	12	12	12
④過不足（③－①）	か所	△4	△2	0	0	0

※区では、平成28年4月から母子保健型の利用者支援事業を開始していますが、今回の計画の見直しに際して、平成29年度から計画上の量の見込みと確保方策に加えています。

（参考）見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	か所	5	5	5	5	5
②追加整備量	か所	1	2	2	0	0
③確保方策	か所	1	3	5	5	5
④過不足（③－①）	か所	△4	△2	0	0	0

【地域子育て支援拠点事業（子育てのひろば）】（【重点】）

0～3歳までの乳幼児と保護者等のための遊び場です。育児相談も行っています。

■これまでの取組

身近なところで子育て中の親子が気軽に交流できる子育てのひろばの新規開設を進め、安心して子育てができる環境を整えています。

■見直しの内容

今回実施した人口推計とニーズ調査に基づき、量の見込み（需要量）を再算定します。需要の増加に 대응するため、新規開設とともに、開室日数の拡大にも取り組みます。

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人回	203,943	202,259	312,922	310,964	310,776
②追加整備量	か所	2	2	1	1	1
③確保方策	か所	22	24	25	26	27
※利用実績	人回	222,341	255,651	—	—	—

(参考) 見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人回	203,943	202,259	199,646	197,765	195,489
②追加整備量	か所	3	1	1	1	1
③確保方策	か所	23	24	25	26	27

【一時預かり事業】（【重点】）

（保育園一時預かり、乳幼児一時預かり、ファミリーサポートセンター事業等）

保護者のリフレッシュのためなど、理由を問わず、お子さんを保育所等でお預かりする事業です。

■これまでの取組

子ども家庭支援センターの「乳幼児一時預かり事業」等の実施日や定員の拡大により、受け皿を拡大してきました。

■見直しの内容

今回実施した人口推計とニーズ調査に基づき、量の見込み（需要量）を再算定し、現状も踏まえて確保方策（供給量）を見直します。

現状の供給量で需要量に対応できる見込みです。今後も利用状況を踏まえ、より利用しやすい事業とするための検討を進めていきます。

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人日	107,066	106,332	102,991	102,357	101,916
②追加整備量	人日	36,072	1,770	0	0	0
③確保方策	人日	115,947	117,717	117,717	117,717	117,717
※利用実績	人日	57,693	61,328	—	—	—
④過不足（③－①）	人日	8,881	11,385	14,726	15,360	15,801

（参考）見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人日	107,066	106,332	105,083	104,312	103,209
②追加整備量	人日	24,005	18,822	100	100	100
③確保方策	人日	103,880	122,702	122,802	122,902	123,002
④過不足（③－①）	人日	△ 3,186	16,370	17,719	18,590	19,793

【妊婦健康診査】

妊婦の健康診査費を一部公費負担することで、妊婦健康診査を受けやすくし、安心して妊娠、出産ができる体制を整える事業です。

■これまでの取組

妊娠、出産数の増加に対応して着実に実施し、安心して妊娠、出産ができる体制を整えています。

■見直しの内容

今回実施した人口推計に基づき、量の見込み（需要量）を再算定します。

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	6,061	6,007	6,289	6,262	6,243
	回	69,670	69,045	72,288	71,976	71,760
※利用実績	人	6,448	6,272	—	—	—
	回	73,833	73,771	—	—	—
②確保方策	—	<ul style="list-style-type: none"> ○実施場所 <ul style="list-style-type: none"> ・都内契約医療機関等 ○検査項目 <ul style="list-style-type: none"> ・体重、血圧、尿、その他医学的検査 ○実施回数および実施時期 <ul style="list-style-type: none"> ・14回、妊娠週数に応じて実施 				

（参考）見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	6,061	6,007	5,966	5,891	5,802
	回	69,670	69,045	68,577	67,712	66,691
②確保方策	—	<ul style="list-style-type: none"> ○実施場所 <ul style="list-style-type: none"> ・都内契約医療機関等 ○検査項目 <ul style="list-style-type: none"> ・体重、血圧、尿、その他医学的検査 ○実施回数および実施時期 <ul style="list-style-type: none"> ・14回、妊娠週数に応じて実施 				

【乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）】

子どもが生まれたすべての家庭を助産師、保健師が訪問する事業です。

■これまでの取組

家庭訪問を着実に実施し、保護者の育児や産後の不安等の軽減を図るとともに、子どもの健康状態の確認や子育て支援に関するサービスの紹介などを行っています。

また、平成28年度から開始した「産後ケア事業」(※)により、出産直後の母子に対するケアを行っています。

※「産後ケア事業」…産後に家族等の支援がなく体調や育児に不安のある方が、助産師がいる施設で心身のケアを受けながら育児方法等を学ぶ事業

■見直しの内容

今回実施した人口推計に基づき、量の見込み（需要量）を再算定します。

また、「産後ケア事業」の実施場所の拡大にも取り組みます。

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	5,568	5,518	5,777	5,752	5,735
※実績	人	5,749	5,723	—	—	—
②確保方策	—	○実施体制 ・配慮が必要な家庭：常勤保健師が訪問指導 ・上記以外の家庭：委託助産師等が訪問指導 ○委託助産師数 ・年間約130家庭に対し1名の割合で配置				

〔参考〕見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	5,568	5,518	5,481	5,412	5,330
②確保方策	—	○実施体制 ・配慮が必要な家庭：常勤保健師が訪問指導 ・上記以外の家庭：委託助産師等が訪問指導 ○委託助産師数 ・年間約130家庭に対し1名の割合で配置				

【子育て短期支援事業（ショートステイ）】

出産、入院などで保護者が子どもの養育ができない場合に、0～18歳未満の子どもを施設で短期間保育する事業です。

■これまでの取組

通常の利用に加えて、児童虐待対応などの使用にも備えるため、着実に受け皿を確保してきました。

■見直しの内容

今回実施した人口推計とニーズ調査に基づき、量の見込み（需要量）を再算定します。

また、本事業を活用して、要支援家庭を対象としたショートステイ事業の拡大にも取り組みます。

〔見直し後〕

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人日	1,381	1,373	936	950	959
②追加整備量	人日	1,272	△ 12	0	0	0
③確保方策	人日	4,392	4,380	4,380	4,380	4,380
※利用実績	人日	855	865	—	—	—
④過不足（③－①）	人日	3,011	3,007	3,444	3,430	3,421

（参考）見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人日	1,381	1,373	1,358	1,351	1,338
②追加整備量	人日	0	0	0	0	0
③確保方策	人日	3,120	3,120	3,120	3,120	3,120
④過不足（③－①）	人日	1,739	1,747	1,762	1,769	1,782

【放課後児童健全育成事業（学童クラブ）】（【重点】）

放課後等に保育を必要とする小学生をお預かりする事業です。

■これまでの取組

すべての小学生に安全かつ充実した放課後や長期休業中の居場所を提供するため、区立小学校において「学童クラブ」と「学校応援団ひろば事業」のそれぞれの機能や特色を維持しながら事業運営を一体的に行う「ねりっこクラブ」を開始し、実施校を拡大しています。あわせて、民間学童保育の誘致も進め、学童クラブの定員を拡大しています。

■見直しの内容

今回実施した人口推計とニーズ調査とともに、近年の需要動向を踏まえ、量の見込み（需要量）を再算定し、現状も踏まえて確保方策（供給量）を見直します。

近年、学童クラブの需要が増加し、在籍児童数、待機児童数ともに増加している状況を踏まえ、当面は低学年の受け入れを優先します。あわせて、児童館やひろば事業等の充実を図り、小学生の放課後の居場所を確保していきます。

【見直し後】

	単位	実績値		見直し後		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	6,185	6,204	5,175	5,434	5,780
※低学年（1～3年生）	人	5,112	5,154	5,175	5,434	5,780
※高学年（4～6年生）	人	1,073	1,050	1,367	1,398	1,397
②追加整備量	人	138	193	266	280	300
③確保方策	人	4,777	4,970	5,236	5,516	5,816
※4月1日時点の 受入数	人	4,467	4,636	4,921	—	—
④過不足（③－①）	人	△ 1,408	△ 1,234	61	82	36

※今回の見直しにより、当面の間、低学年への対応を優先します。そのため、見直し後の量の見込みは低学年のみとします（高学年の量の見込みは、網掛け部分に参考値として示しています）。

（参考）見直し前

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人	6,185	6,204	6,259	6,220	6,209
※低学年（1～3年生）	人	5,112	5,154	5,211	5,147	5,128
※高学年（4～6年生）	人	1,073	1,050	1,048	1,073	1,081
②追加整備量	人	67	310	450	520	520
③確保方策	人	4,706	5,016	5,466	5,986	6,506
④過不足（③－①）	人	△ 1,479	△ 1,188	△ 793	△ 234	297

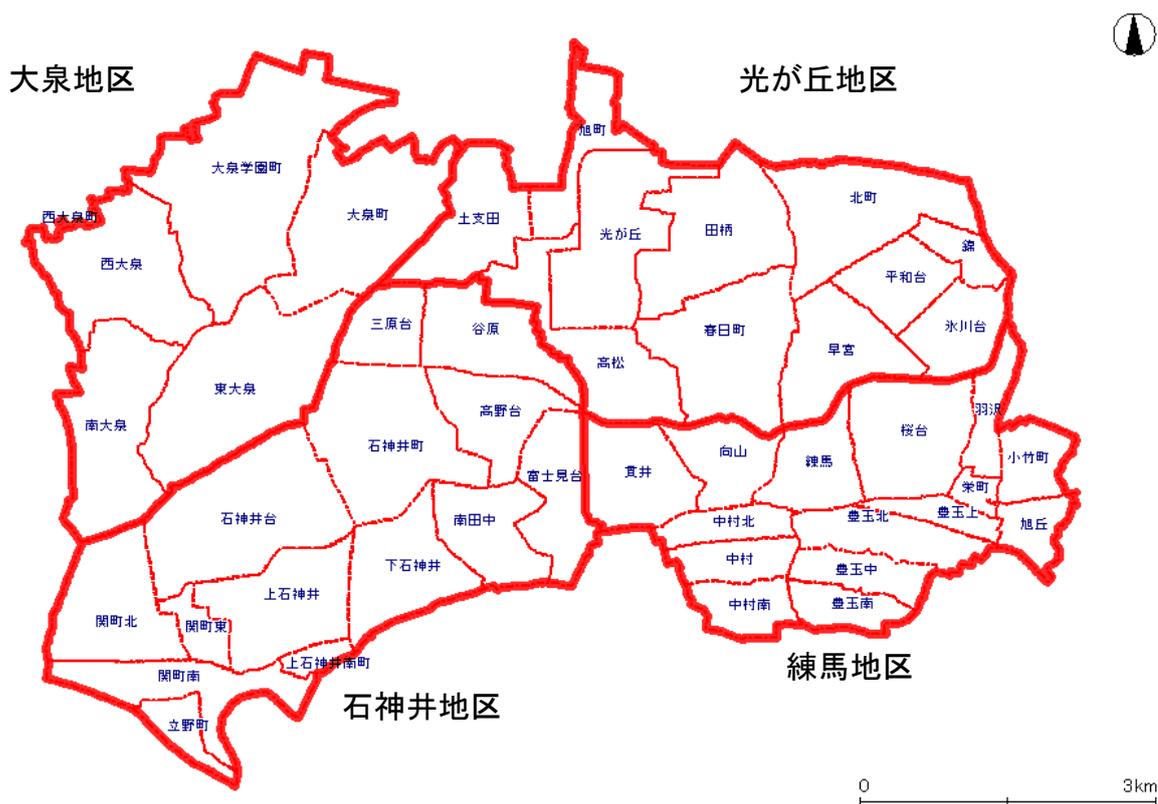
3 教育・保育提供区域の設定

国の基本指針では、区市町村は、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、現在の教育・保育の利用状況などを総合的に勘案して、事業ごとにサービスを提供する区域（教育・保育提供区域）を定めることとしています。

区では、児童福祉を含む多くの福祉サービスが総合福祉事務所の区域を単位として実施されていることから、本計画では4つの総合福祉事務所管轄区域を基本としつつ、各事業の実態も踏まえ、教育・保育提供区域を設定しています。

総合福祉事務所管轄単位の区域設定のイメージ図および事業ごとの教育・保育提供区域については以下のとおりです。

<総合福祉事務所管轄単位の区域設定イメージ図>



事業名		教育・保育提供区域
教育・保育		総合福祉事務所管轄単位（4区域） ※ただし、1号認定については区全域を区域とします。
地域子ども・子育て支援事業	延長保育事業 病児・病後児保育事業 利用者支援事業 地域子育て支援拠点事業（子育てのひろば） 一時預かり事業 放課後児童健全育成事業（学童クラブ）	総合福祉事務所管轄単位（4区域）
	幼稚園預かり保育 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業 妊婦健康診査 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問） 養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業 子育て短期支援事業（ショートステイ）	区全域（1区域）

4 教育・保育提供区域ごとの法定事業の年度別需給計画

(1) 教育・保育

【保育を必要とする0歳（3号認定）】

	単位	見直し前	見直し後			
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度	
練馬地区	①量の見込み	人 318	378	395	407	
	②追加整備量	人 3	19	30	14	
	③確保方策	人 352	365	395	409	
	内訳	認可保育所	人 222	220	230	242
		地域型保育事業	人 42	82	102	104
		その他	人 88	63	63	63
	④過不足（③－①）	人 34	△ 13	0	2	
光が丘地区	①量の見込み	人 401	431	437	452	
	②追加整備量	人 3	26	15	18	
	③確保方策	人 423	442	457	475	
	内訳	認可保育所	人 366	370	370	376
		地域型保育事業	人 23	41	56	68
		その他	人 34	31	31	31
	④過不足（③－①）	人 22	11	20	23	
石神井地区	①量の見込み	人 344	389	414	429	
	②追加整備量	人 10	20	40	24	
	③確保方策	人 372	374	414	438	
	内訳	認可保育所	人 276	272	282	288
		地域型保育事業	人 40	39	69	87
		その他	人 56	63	63	63
	④過不足（③－①）	人 28	△ 15	0	9	
大泉地区	①量の見込み	人 225	224	230	236	
	②追加整備量	人 6	10	5	15	
	③確保方策	人 244	233	238	253	
	内訳	認可保育所	人 171	171	171	186
		地域型保育事業	人 31	23	28	28
		その他	人 42	39	39	39
	④過不足（③－①）	人 19	9	8	17	

【保育を必要とする1・2歳（3号認定）】

	単位	見直し前	見直し後				
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度		
練馬地区	①量の見込み	人	1,389	1,423	1,535	1,582	
	②追加整備量	人	16	199	105	52	
	③確保方策	人	1,391	1,493	1,598	1,650	
	内訳	認可保育所	人	998	955	1,030	1,078
		地域型保育事業	人	168	363	393	397
		その他	人	225	175	175	175
	④過不足（③－①）	人	2	70	63	68	
光が丘地区	①量の見込み	人	1,575	1,813	1,957	1,971	
	②追加整備量	人	16	250	55	60	
	③確保方策	人	1,577	1,908	1,963	2,023	
	内訳	認可保育所	人	1,394	1,597	1,597	1,625
		地域型保育事業	人	90	201	256	288
		その他	人	93	110	110	110
	④過不足（③－①）	人	2	95	6	52	
石神井地区	①量の見込み	人	1,458	1,601	1,726	1,808	
	②追加整備量	人	44	223	105	76	
	③確保方策	人	1,485	1,669	1,774	1,850	
	内訳	認可保育所	人	1,156	1,360	1,435	1,463
		地域型保育事業	人	165	131	161	209
		その他	人	164	178	178	178
	④過不足（③－①）	人	27	68	48	42	
大泉地区	①量の見込み	人	970	936	943	984	
	②追加整備量	人	21	82	5	43	
	③確保方策	人	994	1,001	1,006	1,049	
	内訳	認可保育所	人	765	803	803	846
		地域型保育事業	人	112	102	107	107
		その他	人	117	96	96	96
	④過不足（③－①）	人	24	65	63	65	

【保育を必要とする3～5歳（2号認定）】

	単位	見直し前	見直し後			
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度	
練馬地区	①量の見込み	人	1,602	1,668	1,890	2,083
	②追加整備量	人	28	278	285	135
	③確保方策	人	1,753	1,873	2,158	2,293
	内 認可保育所	人	1,723	1,589	1,799	1,939
	内 地域型保育事業	人	—	—	—	—
	内 練馬こども園	人	—	250	245	240
	内 その他	人	30	34	114	114
④過不足（③－①）	人	151	205	268	210	
光が丘地区	①量の見込み	人	1,868	2,691	2,856	2,974
	②追加整備量	人	46	324	35	126
	③確保方策	人	2,478	2,916	2,951	3,077
	内 認可保育所	人	2,454	2,631	2,656	2,722
	内 地域型保育事業	人	—	—	—	—
	内 練馬こども園	人	—	275	285	345
	内 その他	人	24	10	10	10
④過不足（③－①）	人	610	225	95	103	
石神井地区	①量の見込み	人	1,818	2,296	2,450	2,587
	②追加整備量	人	116	409	60	146
	③確保方策	人	2,156	2,541	2,601	2,747
	内 認可保育所	人	2,140	2,068	2,093	2,159
	内 地域型保育事業	人	—	—	—	—
	内 練馬こども園	人	—	405	440	520
	内 その他	人	16	68	68	68
④過不足（③－①）	人	338	245	151	160	
大泉地区	①量の見込み	人	1,092	1,319	1,433	1,503
	②追加整備量	人	68	224	20	127
	③確保方策	人	1,425	1,486	1,506	1,633
	内 認可保育所	人	1,408	1,265	1,265	1,347
	内 地域型保育事業	人	—	—	—	—
	内 練馬こども園	人	—	205	225	270
	内 その他	人	17	16	16	16
④過不足（③－①）	人	333	167	73	130	

※「練馬こども園」は平成28年4月から事業を開始していますが、今回の計画の見直しに際して、平成29年度から計画上の量の見込みと確保方策に加えています。

【保育を必要とする0～5歳（合計）】

	単位	見直し前	見直し後				
		平成29年度	平成29年度 （見込み）	平成30年度	平成31年度		
練馬地区	①量の見込み	人	3,309	3,469	3,820	4,072	
	②追加整備量	人	47	496	420	201	
	③確保方策	人	3,496	3,731	4,151	4,352	
	内訳	認可保育所	人	2,943	2,764	3,059	3,259
		地域型保育事業	人	210	445	495	501
		練馬こども園	人	—	250	245	240
		その他	人	343	272	352	352
	④過不足（③－①）	人	187	262	331	280	
	光が丘地区	①量の見込み	人	3,844	4,935	5,250	5,397
		②追加整備量	人	65	600	105	204
③確保方策		人	4,478	5,266	5,371	5,575	
内訳		認可保育所	人	4,214	4,598	4,623	4,723
		地域型保育事業	人	113	242	312	356
		練馬こども園	人	—	275	285	345
		その他	人	151	151	151	151
④過不足（③－①）		人	634	331	121	178	
石神井地区		①量の見込み	人	3,620	4,286	4,590	4,824
		②追加整備量	人	170	652	205	246
	③確保方策	人	4,013	4,584	4,789	5,035	
	内訳	認可保育所	人	3,572	3,700	3,810	3,910
		地域型保育事業	人	205	170	230	296
		練馬こども園	人	—	405	440	520
		その他	人	236	309	309	309
	④過不足（③－①）	人	393	298	199	211	
	大泉地区	①量の見込み	人	2,287	2,479	2,606	2,723
		②追加整備量	人	95	316	30	185
③確保方策		人	2,663	2,720	2,750	2,935	
内訳		認可保育所	人	2,344	2,239	2,239	2,379
		地域型保育事業	人	143	125	135	135
		練馬こども園	人	—	205	225	270
		その他	人	176	151	151	151
④過不足（③－①）		人	376	241	144	212	

※「練馬こども園」は平成28年4月から事業を開始していますが、今回の計画の見直しに際して、平成29年度から計画上の量の見込みと確保方策に加えています。

【病児・病後児保育事業】

	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
練馬地区	①量の見込み	人日 2,405	3,967	4,045	4,095
	②追加整備量	人日 0	0	0	780
	③確保方策	人日 3,640	3,640	3,640	4,420
	④過不足 (③-①)	人日 1,235	△ 327	△ 405	325
	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
光が丘地区	①量の見込み	人日 4,164	3,974	4,010	4,050
	②追加整備量	人日 0	780	780	780
	③確保方策	人日 4,680	3,900	4,680	5,460
	④過不足 (③-①)	人日 516	△ 74	670	1,410
	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
石神井地区	①量の見込み	人日 2,515	3,561	3,591	3,594
	②追加整備量	人日 0	0	0	0
	③確保方策	人日 3,640	3,900	3,900	3,900
	④過不足 (③-①)	人日 1,125	339	309	306
	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
大泉地区	①量の見込み	人日 2,115	2,094	2,087	2,071
	②追加整備量	人日 0	0	0	0
	③確保方策	人日 2,340	2,340	2,340	2,340
	④過不足 (③-①)	人日 225	246	253	269

【利用者支援事業】

練馬地区	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	か所	2	4	4	4
②追加整備量	か所	0	2	0	0
③確保方策	か所	2	4	4	4
④過不足 (③-①)	か所	0	0	0	0
光が丘地区	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	か所	1	3	3	3
②追加整備量	か所	1	3	0	0
③確保方策	か所	1	3	3	3
④過不足 (③-①)	か所	0	0	0	0
石神井地区	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	か所	1	3	3	3
②追加整備量	か所	1	3	0	0
③確保方策	か所	1	3	3	3
④過不足 (③-①)	か所	0	0	0	0
大泉地区	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	か所	1	2	2	2
②追加整備量	か所	0	1	0	0
③確保方策	か所	1	2	2	2
④過不足 (③-①)	か所	0	0	0	0

【地域子育て支援拠点事業（子育てのひろば）】

練馬地区	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人回	34,670	52,326	52,401	52,784
②追加整備量	か所	1	0	0	0
③確保方策	か所	5	4	4	4
光が丘地区	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人回	65,953	94,458	94,372	92,827
②追加整備量	か所	0	0	1	0
③確保方策	か所	6	7	8	8
石神井地区	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人回	59,913	107,398	106,464	107,419
②追加整備量	か所	0	0	0	1
③確保方策	か所	7	7	7	8
大泉地区	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	人回	39,110	58,740	57,727	57,746
②追加整備量	か所	0	1	0	0
③確保方策	か所	7	7	7	7

【一時預かり事業】

	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
練馬地区					
	①量の見込み	人日 19,061	19,129	19,078	19,197
	②追加整備量	人日 11	0	0	0
	③確保方策	人日 30,072	27,877	27,877	27,877
	④過不足 (③-①)	人日 11,011	8,748	8,799	8,680
光が丘地区					
	①量の見込み	人日 39,327	20,355	20,194	19,495
	②追加整備量	人日 51	0	0	0
	③確保方策	人日 39,856	24,708	24,708	24,708
	④過不足 (③-①)	人日 529	4,353	4,514	5,213
石神井地区					
	①量の見込み	人日 34,042	36,277	36,101	36,358
	②追加整備量	人日 28	0	0	0
	③確保方策	人日 34,324	37,247	37,247	37,247
	④過不足 (③-①)	人日 282	970	1,146	889
大泉地区					
	①量の見込み	人日 12,653	27,230	26,984	26,866
	②追加整備量	人日 10	0	0	0
	③確保方策	人日 18,550	27,885	27,885	27,885
	④過不足 (③-①)	人日 5,897	655	901	1,019

【放課後児童健全育成事業（学童クラブ）】

	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
練馬地区	①量の見込み	人 1,313	1,136	1,198	1,273
	※低学年（1～3年生）	人 1,178	1,136	1,198	1,273
	※高学年（4～6年生）	人 135	229	242	249
	②追加整備量	人 90	92	60	80
	③確保方策	人 1,145	1,137	1,197	1,277
④過不足（③－①）	人 Δ 168	1	Δ 1	4	
	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
光が丘地区	①量の見込み	人 1,955	1,588	1,664	1,764
	※低学年（1～3年生）	人 1,522	1,588	1,664	1,764
	※高学年（4～6年生）	人 433	396	405	401
	②追加整備量	人 70	48	40	30
	③確保方策	人 1,754	1,709	1,749	1,779
④過不足（③－①）	人 Δ 201	121	85	15	
	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
石神井地区	①量の見込み	人 1,357	1,547	1,641	1,765
	※低学年（1～3年生）	人 1,106	1,547	1,641	1,765
	※高学年（4～6年生）	人 251	386	393	395
	②追加整備量	人 20	92	180	100
	③確保方策	人 1,353	1,488	1,668	1,768
④過不足（③－①）	人 Δ 4	Δ 59	27	3	
	単位	見直し前	見直し後		
		平成29年度	平成29年度 (見込み)	平成30年度	平成31年度
大泉地区	①量の見込み	人 1,634	904	931	978
	※低学年（1～3年生）	人 1,405	904	931	978
	※高学年（4～6年生）	人 229	356	358	352
	②追加整備量	人 270	34	0	90
	③確保方策	人 1,214	902	902	992
④過不足（③－①）	人 Δ 420	Δ 2	Δ 29	14	

※今回の見直しにより、当面の間、低学年への対応を優先します。そのため、見直し後の量の見込みは低学年のみとします（高学年の量の見込みは、網掛け部分に参考値として示しています）。

**練馬区子ども・子育て支援事業計画
中間見直し（案）**

平成 29（2017）年度～31（2019）年度

平成 30 年 3 月

発行 練馬区教育委員会事務局こども家庭部こども施策企画課

〒176-8501 東京都練馬区豊玉北 6 丁目 12 番 1 号

TEL 03-3993-1111（代）

FAX 03-5984-1220

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/>